

## 第8回津別町議会定例会『行政報告』

はじめに、まちづくり懇談会についてではありますが、今年度は「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画について」「空き家対策の取り組みについて」「国民健康保険事業の北海道移管について」をテーマに、11月2日から12月5日にかけて自治会関係17箇所で開催したところ、296名（去年は186名）の参加がありました。多くの貴重なご意見を伺えましたことに感謝をいたしますとともに、開催にご協力いただきました自治会等関係者の皆様に、あらためてお礼を申し上げる次第であります。

次に、農林水産大臣賞の受賞についてではありますが、平成29年度全畜連肉用牛枝肉共進会が、11月14日から16日にかけて、東京都中央卸売市場で開催され、大昭 迫田隆さんが出品した肥育牛が、黒毛和種去勢牛の部で津別町初となる最優秀賞を受賞しました。

また、11月29日から12月2日にかけて、帯広市の北海道畜産公社道東事業所十勝工場で開催されました、平成29年度北海道枝肉共励会においても、黒毛和種の部で最優秀賞を受賞しました。

この快挙に対しお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全・安心で良質な肉用牛の生産と畜産振興に寄与されますことを期待するものであります。

次に、「青年の主張」最優秀賞の受賞についてであります。第66回全道JA青年部大会が、12月7日、8日の両日、札幌市で開催され、恩根 西原浩一郎さんが、消費者と生産者の距離を縮めるため、食農教育などに対する青年部活動の重要性を訴えた内容が認められ最優秀賞を受賞しました。

引き続き来年1月、山形県で開催される東北・北海道ブロック大会に出場しますが、健闘を祈りたいと思います。

次に、第59回網走管内三地区対抗剣道大会、第35回網走管内段別選手権大会についてであります。12月10日、津別町農業者トレーニングセンターにおいて、約70名の有段者が出場し開催されました。この大会は、管内を北見、紋別、網走の三地区に分け、対抗戦を行うものですが、津別町での開催は昭和60年以来、実に32年ぶりの開催となったところです。

次に、複合庁舎建設に対する合築要望団体との意見交換についてありますが、まちづくり懇談会を終了したことから、12月12日に北見信用金庫理事及び津別支店長と、12月15日には津別農協代表理事組合長及び常務他と意見交換を行ないました。アンケートの集約結果では、有効回答数203のうち複数回答可能の条件で、複合庁舎の合築に関する問いについて、農協、北見信金ともに含めてもよいとするものが61、農協を含めるべきではないが34、北見信金を含めるべきではないが41であったことから、合築を行わないとした場合のそれぞれの考え方を聞いたところです。

いずれも近く理事会を開催し、庁舎の建設に遅延が生じないように結果をできるだけ早く町に伝えたいとの回答でした。ゾーニング案はA案が最も多い結果となりましたが、北見信金と農協の動向によっては絵の書き直しが必要となりますので、回答を待って特別委員会及び町民の方々に再提案したいと考えております。

次に、オホーツクイメージ発信プロモーション事業についてありますが、オホーツク管内18市町村と総合振興局が連携して取り組む事業として、6月議会において負担金の補正をお願いしたところです。その後、オホーツクイメージ戦略推進委員会が組織され、9月末に事業を進める委託業者のプロポーザル審査を行い、応募

10社の中から電通北海道とJTB北海道のコンソーシアム（共同事業体）に決定し事業が開始されたところです。

企画内容としては、オホーツクは「クール」、「冷たい」「涼しい」から「かっこいい」「しゃれている」といった意味を含めた「オホーツクール」をキーワードに展開することとなり、大西重成氏のご子息でイラストレーターである<sup>おおにしろう</sup>大西洋氏のコンセプトポスターと各市町村のイベント展示用のポスターが作成されました。

また、もう一つの企画として、吉本興業所属のウーマンラッシュアワー村本大輔氏が「炎上芸人」として有名なことから、「ミスター炎上」と名付け、「オホーツクール」で癒してもらおうと、動画を作成し各種SNSに拡散させることとなりました。12月初旬に村本氏がオホーツクに入り撮影を終了したことから、12月13日、吉本興業東京本部においてキャンペーン発表会が行われ、委員長である北見市長及びオホーツク総合振興局長とともに参加しました。

今後、オホーツク地域の知名度が上がることを大いに期待したいと思えます。

次に、サッカーJ1リーグ川崎フロンターレ奈良竜樹選手の優勝報告についてであります。12月18日、川崎フロンターレ所属の奈良竜樹選手が、チームの優勝報告のため来庁されました。奈良

選手の母親は津別町出身で、町内には祖父母や親戚の方々も多くおられ、優勝の喜びを伝えながら元気な姿を見せていただきました。

現在24歳の奈良選手は、北見市の小中学校を卒業後、コンサドーレ札幌の下部チームに所属し、道立札幌国際情報高校3年生の時に公式選に先発出場しています。その後、U-23の日本代表としてリオデジャネイロ五輪のメンバーに選出されましたが、残念ながら怪我のため出場を辞退しています。

本年は、川崎フロンターレ移籍2年目ですが、守備の要であるセンターバックとして大活躍され、優勝に大きく貢献されました。今後も一層の活躍を期待し、町民の皆さんとともに応援していきたいと思えます。

次に、建設工事等の発注状況についてであります。12月11日現在、

- 一般土木工事関係については、現年発生農業用施設災害復旧工事（活汲5号明渠災害復旧工事）他15件

167,595千円(97.7%)

- 一般建築工事関係については、相生町営住宅建設工事

他31件

231,264千円(96.9%)

- 簡易水道・下水道工事関係については、共和第1幹線配水管

更新工事他 16 件 152,626 千円(100.0%)

○ 設計等委託業務関係については、相生団地外建設用地地質調

査業務他 31 件 244,903 千円(99.6%)

であり、平成 29 年度予算分について総額 796,386 千円で  
98.5%の発注率となっており、今後も適時発注に努めて参ります。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算等の議案を提出  
いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い  
申し上げ行政報告といたします。